

# 徳島県農林水産基本計画レポート (概要版)

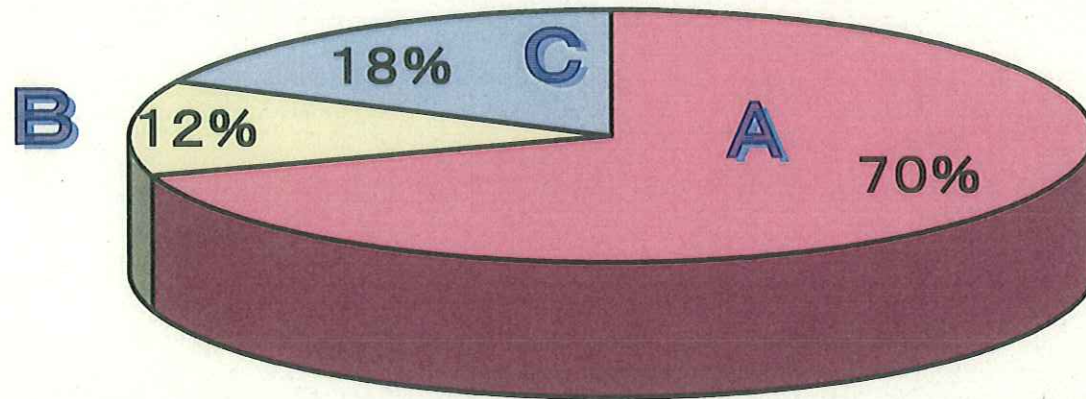
## 第1期計画 [平成21年度～24年度]

平成 25 年 9 月



# 徳島県食料・農林水産・農山漁村基本計画 目標の達成状況

目標達成割合



A+B

82%

- A : 目標を達成したもの (133項目)
- B : 目標をほぼ達成したもの (23項目)
- C : 目標達成には至らなかったもの (34項目)

評価項目 : 190項目 (目標200項目のうち、評価可能なもの)  
評価方法 : H24実績値を目標値と比較

基準 A : 計画目標値 以上  
B : (計画目標値-計画当初値) × 0.8 以上  
C : B 未満



# I 本県の特徴を生かした豊かで充実した食料の提供【食料政策】

## ○安全で安心な食料の安定的な供給

### とくしま安2農産物認証件数(累計)

H20実績 : 50件  
計画目標 : 100件  
H24実績 : 145件

平成16年に創設した県独自の農産物の安全・安心のための認証制度である「とくしま安<sup>2</sup>農産物認証制度」の推進を図ってきました。

また、平成23年には国の推進するGAP(生産工程管理)の考えを導入し、食品安全のみならず環境保全、労働安全にも配慮した「とくしま安<sup>2</sup>GAP農産物認証制度」へと制度を再構築し一層の推進を図りました。

新制度の説明、GAP指導者研修会、GAP講演会、東京、大阪でのトップセールスによるPR等の取組みを行い、平成24年度末では、認証件数145件、84団体、延べ1,987人となりました。

### 食育推進ボランティア登録数(累計)

H20実績 : 1,365人  
計画目標 : 1,550人  
H24実績 : 1,695人

健全な食生活を推進する食育を地域の実情に応じた活動で展開するため、食育推進ボランティアの取組みを支援するとともに、各団体へボランティア活動への参加呼びかけを行いました。

最近では、野菜摂取量アップに向けた取組みとして、「簡単野菜料理レシピの作成」や「サラダ元気日曜日の展開」などを行っており、食育推進ボランティアの方々にも各方面でご活躍いただいているところです。

また、平成24年度には、「徳島食育推進計画」に基づき、24全市町村において、「食育推進計画」が策定されるなど、関係機関と連携した一層の活動推進を行いました。

## ○食育・地産地消の推進



安2GAP制度のPR



安2GAP認証マーク



GAP推進フォーラムの開催



地産地消協力店(産直市)



学校での食育活動



食育農業体験

## Ⅱ 本県の特徴を生かした農林水産業の振興【産業政策】

### 〇とくしまブランドの創出

### 〇海外への進出

#### とくしま特選ブランド創出数(累計)

H21実績	: ー
計画目標	: 10ブランド
H24実績	: 31ブランド

「もうかる農林水産業の実現」を戦略目標に掲げる「ひろがる・とくしまブランド戦略」を展開し、これまで以上に生産地と消費地の間で「情報」・「モノ」・「カネ」が活発に循環する取組みを進めています。

平成23年度から、付加価値の高い県産農林水産物の創出とブランド力の強化を図るため、生産面や品質面に特徴があり、贈答用として人に贈りたくなるような品質の高い商品を「とくしま特選ブランド」として、県が登録する取組みを実施しております。

対象商品の育成や候補品目の掘り起こしにより、平成24年度末での登録数は31商品となりました。



#### 農林水産物輸出金額

H21実績	: 2,000万円
計画目標	: 5,000万円
H24実績	: 5,200万円

県産農林水産物の輸出拡大を図るため、海外においてPR販売や市場調査を実施するとともに、平成24年度には、「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」を策定し、重点的に輸出拡大を図る国・品目等を定めたほか、輸出拡大の推進母体となる「とくしま農林水産物等輸出促進ネットワーク」を創設、生産者をサポートする体制を整えました。

輸出金額については、香港に阿波牛や阿波尾鶏、なると金時など約4,000万円、シンガポールには米など約900万円、台湾にはなると金時など約250万円が輸出され、特に香港への輸出が伸びています。



とくしまブランド海外協力店(香港)



「香港」での販売  
('なると金時')



FOOD EXPO香港  
(商談の状況)

## Ⅱ 本県の特徴を生かした農林水産業の振興【産業政策】

### ○林業及び木材産業の振興

### ○水産業の振興

#### 県産材の生産量

H21実績 : 20万m<sup>3</sup>  
 計画目標 : 26万m<sup>3</sup>  
 H24実績 : 26万m<sup>3</sup>

「森林整備加速化・林業飛躍基金」を推進エンジンに、県産材の生産・流通・加工体制の整備や県産材の利用推進に取り組んだ。また、平成23年度からは、県産材安定供給会議を設置し、林業・木材関係者を挙げて増産に取り組み、H24年度目標の26万m<sup>3</sup>を達成した。

#### 間伐実施面積(累計)

H21実績 : 36千ha  
 計画目標 : 55千ha  
 H24実績 : 54千ha

森林の持つ公益的機能の高度発揮や充実した森林資源の利活用を図るため、国の補助事業を積極的に活用し、搬出を含めた間伐事業を実施しました。平成24年度は国の支援制度改正により保育間伐の実施が困難となりましたが、目標をほぼ達成することが出来ました。

#### 藻場造成箇所数(累計)

H20実績 : 4箇所  
 計画目標 : 12箇所  
 H24実績 : 13箇所

沿岸域の漁業資源を維持・増大させるため、魚介類の産卵場や育成場として、さらには、水質浄化の面においても重要な役割を果たす「藻場」の整備を行いました。

平成21年度から平成24年度までの間に、阿南地区において、約5.5ヘクタールの藻場を造成するなど、13箇所の造成を完了しました。

造成を行った藻場には、メバルやナマコなどが定着し、優良な漁場環境が形成されています。



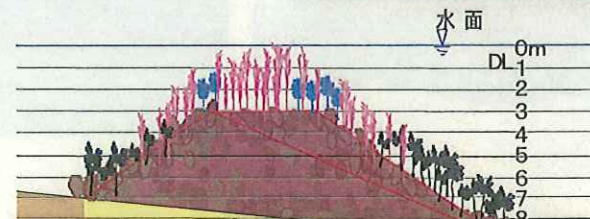
先進林業機械システムの導入による  
県産材生産体制の整備



公共建築物の木造化による  
県産材の利用促進



製材工場(合板加工)



自然石2~3段積みによる藻場の造成



繁茂するアラメ・カジメ

## Ⅱ 本県の特徴を生かした農林水産業の振興【産業政策】

### ○優良な生産基盤の整備及び保全

### ○多様な担い手の育成

#### ほ場の整備面積(累計)

H20実績 : 6,610ha  
 計画目標 : 6,700ha  
 H24実績 : 6,711ha

効率的な農業経営を支え、安全・安心で高品質な「とくしまブランド」農産物の生産を促進するため、地域の実情に応じた「ほ場の整備」を進めました。  
 本県の「ほ場の整備」としては、平坦地で比較的まとまりのある区域を考慮し、県内の水田面積21,141ha(平成8年度)のうち10,000haを重点的に整備する区域として選定し、生産基盤の整備に取り組んでいます。  
 平成24年度は、経営体育成基盤整備事業など9地区において、17haを整備し、平成24年度末の整備済み面積の累計は6,711haとなりました。  
 また、優良な生産基盤の保全のため、地籍調査を積極的に推進した結果、H24年度末の実施面積は、目標をほぼ達成する1,175km<sup>2</sup>となりました。

#### 農林水産業への新規就業者数(累計)

H20実績 : 486人  
 計画目標 : 1,000人  
 H24実績 : 1,088人

就業にあたっての相談窓口を設置するとともに、国等の制度を活用しながら新規就業者の確保に努めました。  
 また、農業・林業・漁業の各分野において、人材育成を図るための具体的なプログラムを新たに策定しました。  
 ・ 農業では、専修学校化された農業大学校やアグリテクノスクールにおいて、生産技術の基礎から経営にいたる幅広い知識・技術習得に向けた支援を行いました。  
 ・ 林業では、林業労働力確保支援センターを核として、担い手の育成・確保や就労先となる事業体の育成強化を図りました。  
 ・ 漁業では、就業希望者と漁協とのマッチングにより人材の確保に努めるとともに、現場での実践的な研修を通じて養成を図りました。



なると金時へのかん水  
(スプリンクラー)



集団化された農用地



地籍調査事業の推進



農業大学技術実習



林業現地研修会



若手研修会(水産)

人材育成に向けた  
研修等の実施



## Ⅱ 本県の特徴を生かした農林水産業の振興【産業政策】

### ○新たな技術の開発及び普及

### ○農商工連携・6次産業化の促進

#### 「徳島発・次世代技術」の創造(累計)

H20実績 : 14件  
 計画目標 : 31件  
 H24実績 : 37件

LEDやICT、DNAなど工学や生物学分野の先端技術を活用し、菌床シイタケの増収技術や新とくしまブランド豚の開発など、本県農林水産物のブランド力強化につながる新たな技術開発に取り組みました。

効率的な技術開発と普及、また次代を担う人材の育成を図るため、研究・普及・教育の機能と施設を集約した「農林水産総合技術支援センター」の新拠点をPFI手法により整備しました。

#### 「新とくしまブランド豚」出荷頭数

H21実績 : ー  
 計画目標 : 90頭  
 H24実績 : 0頭

「新とくしまブランド豚」は、平成22年の開発以降、早期の市場出荷に向け研究を続けてきました。平成23年度には、指定農場を決定し、また、平成24年度には、指定農場の施設整備を支援するとともに、種豚の供給を開始しました。

現在、子豚の生産が開始されており、秋頃に市場に出荷される予定です。なお、本年の8月、公募により愛称が「阿波とん豚」と決定したところです。

#### 「農商工連携事業」による商品開発事業数(累計)

H20実績 : 17件  
 計画目標 : 80件  
 H24実績 : 87件

本県の豊富で良質な農林水産物と中小企業が有する高いものづくり技術等の連携による新たな産業創出を促進するため、「とくしま経済飛躍ファンド(農商工連携枠)」等を活用し、新商品開発等の事業展開を支援しました。

農林漁業者と商工業者などが連携し、「すだち、ゆず、れんこん、しいたけ、阿波牛、鳴門わかめ、鳴門鯛、はも」などのとくしまブランドを活用し、累計87件の新商品が開発されました。



LEDを活用したシイタケ増収技術



県が開発したイチゴの新品種(H23.5登録)



「新とくしまブランド豚」の開発



「農林水産総合技術支援センター」(新拠点)



木頭ゆず果汁を使用した「かきまぜ」セット



「椎茸エキスの調味料」の開発



「ゆずエッセンシャルオイル」の開発



「鯛めしセット」の開発

# Ⅲ 本県の特徴を生かした農山漁村の活性化【地域政策】

## ○農山漁村と都市との交流

## ○鳥獣による被害の防止

### 徳島農林漁家民泊の体験宿泊者数

H20実績	: 100人
計画目標	: 710人
H24実績	: 1,124人

グリーンツーリズム(農産漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ余暇活動)の普及のため四国4県で組織した四国グリーンツーリズム推進協議会を中心にイベントの実施やパンフレット、ホームページ等でのPRを行った。

4年間で、農林漁家民泊は4軒から、16軒へと増加し、とくしま農林漁家民泊の体験宿泊者数は目標710人に対し実績1,124人となった。

### 市町村被害防止計画の策定数(累計)

H20実績	: 12市町村
計画目標	: 21市町村
H24実績	: 23市町村

地域の状況に応じた総合的な鳥獣害対策を進めるため、「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」の規定に基づく「被害防止計画」の策定を市町村へ積極的に働きかけました。

その結果、平成24年度までに被害の発生のある全ての市町村(23市町村)で被害防止計画が策定され、侵入防止柵や捕獲檻などの被害防止対策が進みました。



農作業体験(稲刈り)



農林漁家民泊(牟岐町)



侵入防止柵の設置



はこワナの設置



## IV 県民等の参画及び協働による農山漁村の保全【協働政策】

### ○協働による農山漁村の保全活動の推進

農地や農業用水などを保全する協働活動及び  
老朽化した施設の長寿命化に取り組んだ延べ  
活動組織数

H22実績 : 104組織  
計画目標 : 134組織  
H24実績 : 144組織

農地・農業用水等の地域資源については、過疎化・高齢化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、多くの集落でその適切な保全管理が困難な状況となっています。

このため、平成19年度から農業者だけでなく地域住民も参画した、「活動組織」が地域ぐるみで取り組む農地や農業用水等の草刈り・泥上や畦畔への植栽等の活動を推進しました。

また、平成23年度からは、老朽化した農業用水路の補修・更新による長寿命化の取組も加え、農業者と地域住民による協働活動の推進を図り、平成24年度末に、目標値の134組織に対して、144組織が地域資源の保全管理や長寿命化の活動に取り組みました。



小学生による畦畔への植栽



協働作業（水路の泥上げ）



老朽化した水路の更新

